

# 社会系(地理歴史) 教科指導法



## 第5-6講 授業づくりを比較分析する —社会の意味を構築する授業—



# 演習課題1

- 地理(沖縄地方の産業)を教える授業
  - 歴史(戦国時代の石山合戦)を教える授業
- 両実践から授業づくりの理論を読み取ろう
- (1) 授業映像をポイントを絞って**視聴**する
  - (2) ペア2班の対決形式で、コンセプトの差異を**明確化**します。奇数は地理, 偶数は歴史
  - (3) ペア2班と論点争点をよく**調整**した上で,  
**結論と根拠**をスライド1枚にまとめる
- ファイル名は, 20180626-x

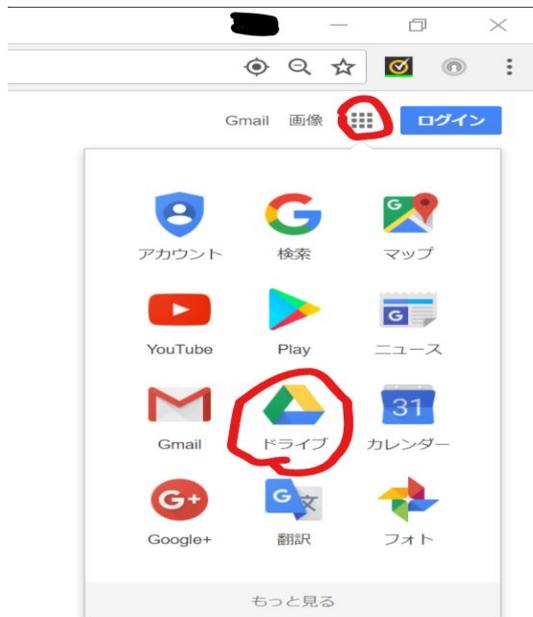
# Googleドライブへのアクセス方法

Googleアプリ→「ドライブ」→「別のアカウントを使用」

→メールアドレスを入力→パスワードを入力

メールアドレス: kusaharaclass@gmail.com

パスワード:



# 1 亜熱帯の沖縄－中学校地理－



**視点1からみた  
事実と傾向性**  
(一次産業の隆盛)

**視点2からみた  
事実と傾向性**  
(二次産業の隆盛)

**地域の特色  
(産業構造)**



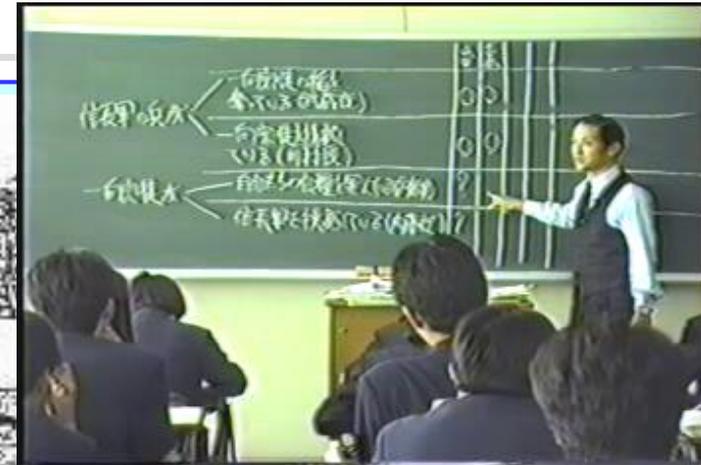
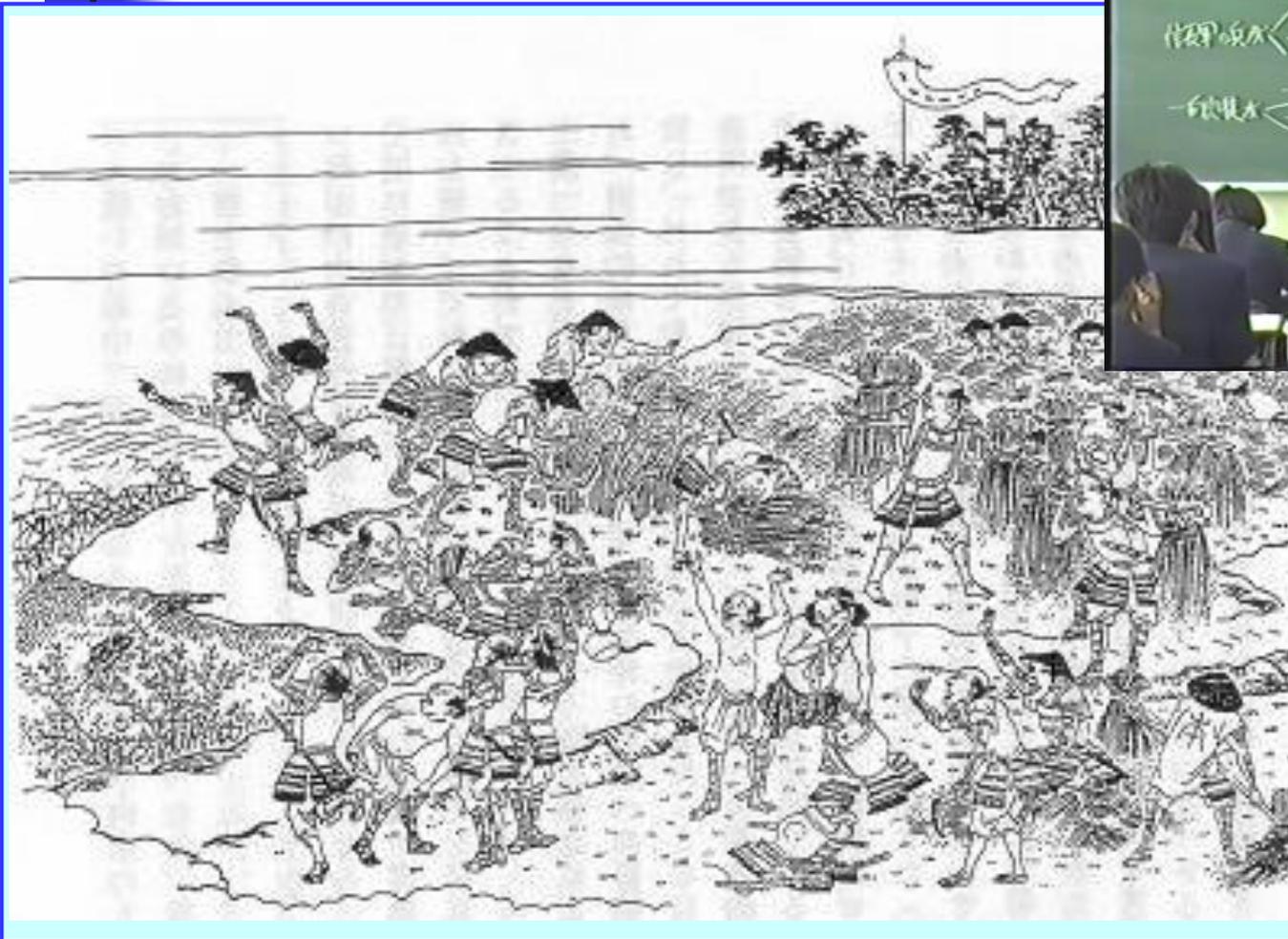
**沖縄県**

**視点3からみた  
事実と傾向性**  
(三次産業の隆盛)

**地域の特色  
(産業構造)**

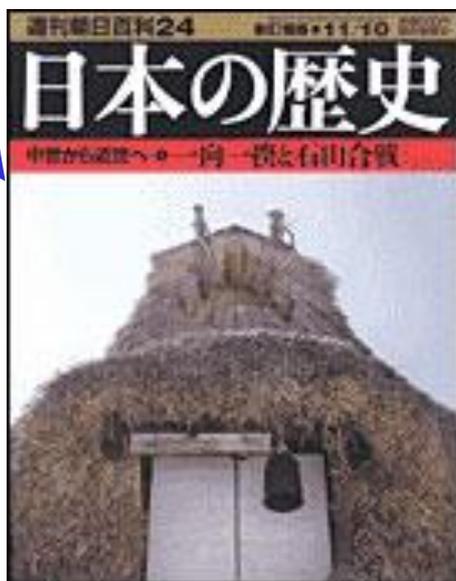
**東京都**

## 2 石山合戦—高校日本史—



『絵本拾遺信長記』  
石山合戦の図

- Q1: **一次史料**で変なところ探し
- Q2: **キャプション**を付ける  
(〇〇が△△をしているところ)
- Q3: **代表的な説**に分類する
- Q4: **評価と根拠**を尋ねる
- Q5: **他の二次史料**で吟味する



	山口	五十嵐	山田	安西	島野	真鍋
<b>1. 信長軍</b>						
• 食料収奪 武蔵説						
• 挑発 河村説						
<b>2. 一向宗徒</b>						
• 食料調達 高橋説						
• 挑発 伊藤説						
	納得できない→×					
	筋が通っている→○					

# A vs B: 論点争点をつくろう

—2班の対決から見えてくる授業づくりの特質とは—

1vs 2 先生の**口癖**とは...

3vs 4 板書の**仕方**, 板書の**特色**とは...

5vs 6 **教材**が果たしている役割とは...

7vs 8 **教師**が果たしている役割とは...

9vs10 形成したい知識の構造の**水準**とは...

11vs12 「大正時代」の4+1の**類型**のどれか

13vs14 学びの**汎用性**と**レリバン**スは

15vs16 地理が**分かる**, 歴史が**分かる**とは



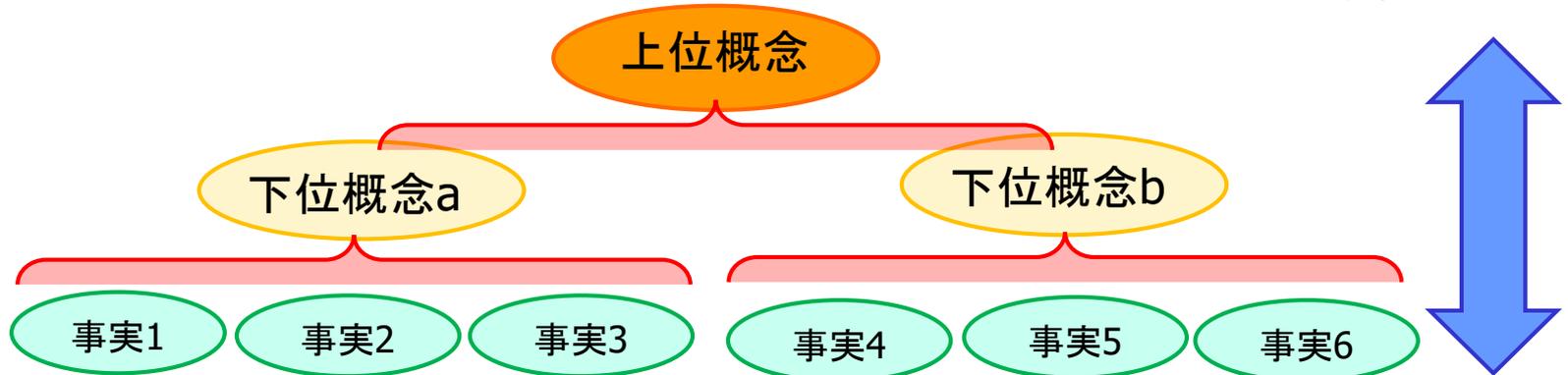
# 本日の概念3

## 科学的知識の構造と思考力(森分, 1997)

知識とは、人の外に仮定される構造物である

知識には、個別的な場面・状況を記述した事実的知識(事実)と一般的規則性・傾向性を記述した概念的知識(理論)がある  
両者を往復して、因果や意味を説明すること=思考力

- (1) 事実を関係づけて地域・時代の特色を構築させる...**帰納**
- (2) 理論を適用して多様な事実の関係を分析させる...**演繹**



「大正時代」のABCでは、到達させたい概念の質が異なる



# 本日の概念3

## トウルミン・モデルと判断力(Toulmin,1958)

知識とは、人と人との間に成り立つ対話である。

知識には、Data: 証拠資料(データ), Claim: データから導かれる言説(主張), Warrant: 主張が成立する理由(論拠)がある。

3つを組み合わせて、**Argument**を組み立てること=判断力

(1) 自分で主張を組み立てる...**立論**

(2) 他者の主張を分析して、良さ・課題を評価する...**批評**

